

日本サッカーに ルネサンスは起こるか? (10)

枚方FC 近江 達

マスコミ主導型からの脱出

ひと頃、日本サッカーは一体どのくらいで欧米に追いつけるか、よく話題になった時期があった。十年だ、いや二十年はかかるなどと勝手なことを語り合ったものだが、結局実現しないまま速い歳月の流れにいつしかうたかたと消えてしまった。

とはいえ、日本サッカーは衰退したわけではない。衰退どころか、子供から老〇Bまでサッカー人口は年々ふえ続け、技術も進歩した。女子サッカーの出現は、サッカーの魅力が確実に日本人をとらえた証明と言える。

「弱い。勝てない。スターがいない」と文句ばかり言われている代表チームにしても、欧米からアジアを含めた外国チームとの試合で以前ほど点差が開くことはほとんどなくなり、ときには勝つこともある。プロ第一号・奥寺はレベルの高い西ドイツのプロリーグで充分通用している。

依然水面下にあるとはいえ、以前よりも水面に近づいたのだ。下火どころか、「日本もやっと追いついて来たぞ」、と喜んでもよきそんなものだが、何故か盛り上らない。

初めは欧米との差がそれほど大した距離には見えなかったのだ、誰もがすぐに追いつけるように思った。だが、マラソンで実力充分な走者を追いかけるのと同じで、距離は縮まっても、なかなか並べそうにない。それが実感として分ってきたために、この程度の進歩では喜ぶ気にはなれないのである。

むしろ、いまだに距離の分らない人や、何でもかんでもダメだダメだとヒステリックにわめき続ける人もいられるけれど、大体において「勝たねば意味なし」とは言いながらも、勝敗だけですべてを即断評価する人々の習癖は以前よりも薄れた。「勝敗もさることながら、勝敗にいたるプロセスやサッカー内容の違いも重要だ」と考える人々が、どうやら少しずつふえつつあるようである。

マスコミが話題に乏しい日本サッカーから離れるとともに、煽られた過熱はさめた。指導者も、選手も、ファンも、それぞれ自らの意思による洞察、地道な努力と体得によって、向上と充実を目指す時代に入ったらしい。

問題は、量よりも質

日本では、「違い」で見ないで、
差を見る傾向が強い。
——内橋克人

先進国に追いつき追い越すには、彼らとほぼ同じ道を行ってピッチをあげるか、それとも近道を行くか、しなくてはならない。

巧拙、遅速、濃淡などで差こそあれ、サッカーの性質とか構成は彼らと変らないという

のであれば、まずまず同じような道を進んでいるのだから、追いつけるかどうかは努力次第、という計算になる。

だが、いかにも個性的な選手たちの自由な発想とその実行という印象をうける彼らのサッカーの横に並ぶと、日本サッカーはどう見ても画一的で管理組織的すぎる。巧拙や性能の問題ではなくて、質的な差異がある。それももっと奥の方に本質的な違いが潜んでいて、そこから皮相や枝葉の違いが生れてきているような気がする。

ゲームでの頭脳の働き方から、それ以前のサッカーに対する考え方、取り組み方、教育法……と追求していくと、そこから差し当ってはどのような出来ない社会環境などを別に、民族的相違からきた成分を無理矢理引き剥して除去してみても、日本が進んでいる道が彼らと同じだとは思えない。

では、日本は近道を進んでいるのか？
戦後、U S A の教育政策によって、日本人は滅私奉公型からミーイズム（自己中心主義）

に変わってきた。その教育を受けた人々がすでに親となり、指導者の大半を占めているのだが、戦後教育第一世代の彼らの多くは、第二世代である教子達の少年たちがエゴイストで責任感に欠け、ガッツがなく努力が足りない、と不満を口にしている。

確かにそのとおりである。しかし改めて見直してみると、それでもサッカー高校では過二十時間以上の練習を何とかこなしているし、今後変るにせよ今のところは外人に比べれば結構真面目で、日本人らしい勤勉協調性はまだまだ受け継がれている。

精神的にしても、巧くなったとはいってもまだ充分でないあの程度の技術戦術で、外国の一流チーム相手に僅かな点差で済むのは、日本人ならばこそである。これが白人黒人なら、きっと大敗するにちがいない。

だから、不満はあるにしても、日本サッカーの低成長を現代っ子の努力不足だけのせいにするのは妥当でない。教育内容など、もっと他に広く深く目を向けるべきであろう。

先進国との差と教育、という話になると、遊びとクラブサッカーで育つ彼らと、学校サッカーのわが国という違いがよく持ち出されて、「南米は幼い頃から毎日八時間以上サッカーで遊ぶのだから、日本は時間が足りないんだ」と言われたりする。なるほど、これには一言もない。

だが、ヨーロッパとなると事情は違ってくる。というのは、世界地図で分るように、欧州の大部分は北海道よりも北方にあって、冬が長く、その間雪で外では練習できないからである。雪国はそのためにレベルが低い、というわが国の常識からすると、当然、ソ連、スウェーデンは無論のこと、イングランド、ドイツ、フランス、オランダみんな日本よりも下手でなくてはならない。ところが常識に

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。
「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。

反して実際は逆である。

この事実、日本サッカーの低レベルの要因が、南米との大差でよく弁解に使われる練習時間や量の不足ではなくて、教育の内容や質をはじめとして、他にいろいろあることを暗示している。

ましてわが国のサッカー教育が欧米に追いつき追い越せる近道をとっているとは毛頭考えられないのである。（つづく）

「動きの量と質」

レフェリーを志す人へ
ワンポイント・アドバイス——⑦

市協会審判委員長 藤田利明

審判をするのに接触プレーの見える位置へ動かなければなりません。

動きには量と質があります。

1. 50m 7秒

2. 400m 70秒

3. 12分走 3,000m

これぐらいを一つの目安にされればと思います。スピード豊かに、量を多く走りたいたいのです。

質については、原則的には対角線式審判法（一つのプレーを主審と線審がはさんで見るとしたがいながら次の3点に留意して動きまわります。

1. プレーのじゃまにならない

自分の前方のプレーヤーは見えますが、後方のプレーヤーの動きは見えないのです。ゲームの流れをよく読んで意識的に後方のプレーヤーを見てプレーのじゃまにならないようにしましょう。

2. できるだけ近くで

プレーから遠く離れると反則は見えませんが、しかし、あまり、近付きすぎるとプレーのじゃまになったり、自分の視野が狭くなり、少し離れた場所での反則が見えなくなりますので、争点から7m～15mぐらいの距離が適当かと思えます。

3. 良い角度で

いくら近くてもプレーヤーの影になれば見えません。接触プレーを起しているプレーヤーの横から見るようにしましょう。

審判員になって間のない人は、まず量で走ることです。普段のトレーニングに努めて「プレーの近くで見る」を心がけて走りまわって下さい。その後、経験を積みながら質を高めていけばいい動きができます。

神戸市社会人運営会議予定

次回 1月19日(木)

2月16日、3月15日、3月22日

いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム

昭和58年度兵庫県高等学校選手権大会 兼全国高等学校選手権大会兵庫県予選



お正月に主都圏で開催される全国高校選手権大会に出場する県代表チームは、北須磨高校に決まった。

昭和58年度県高等学校選手権大会兼全国選手権県予選は、10月29日から11月13日まで、県下各地で行われ、優勝候補と見られていた三原、伊丹北、御影工が次々に敗れ、近年めきめき力をつけてきた北須磨高校が見事初優勝を飾った。

また、決勝には久々に関学が進出し、名門復活の兆しがうかがわれ、関係者を喜ばせた

▷決勝(11月13日、神戸市立中央球技場)

北須磨 2 $\left\{ \begin{array}{l} 1-1 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{array} \right\}$ 1 関学

決勝は学校の歴史は浅いが、最近優勝をねらうに十分な力をつけてきた北須磨高校と15年ぶりに決勝に進出した県高校サッカー界の名門関学との対決となった。

試合はキックオフから北須磨が優勢に進め12分、右スローインから早川が持ち込み、関学バックを切り返しでかわして右すみにシュートを決めリードした。点をとられて逆にリラックスした関学は、持ち前のロングパスで走り込んだFWの頭に合わせるパターンでチャンスを作り、22分、フリーキックからヘディングでゴール前へ折り返し、MF岸本がヘディングで飛び込み同点として前半を終了した。後半、劣勢をはね返し、同点に持ち込み勢いに乗る関学に対し、北須磨はチャンスをつかみながらも追加点をあげることができず、勝負は延長戦へもつれ込んだ。延長前半5分、北須磨松井からの大きな縦パスを畑本が関学バックラインをすり抜け、独走でドリブルシュートを決め、待望の追加点を上げた。関学は終了間際に決定的なチャンスをつかみながら、北須磨バックスの好クリヤーに阻まれ、結局2-1で北須磨の勝利に終わった。

兵庫県高校選手権を見て

県協会第2種委員長 佃 幹夫

各チームの主役でもある高校3年生にとっては進路決定の大切な時期であり、この大会はチームのコンディショニングでどのチームも苦勞が多い。夏の大会で活躍した上級生がベスト・コンディションで臨めるかどうかによって勝算も変わってこようし、高3引退後のチームにとっては、その穴うめりの出来、不出来によってチームが左右されるわけである。

このような条件で、地域予選段階よりかなりの波乱もあり、県中央大会進出を果せなかった学校もある。



1983 12月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円



「さあ次は全国大会だ」初優勝を果し意気上がる北須磨高イレブン (写真提供 北須磨高)

北須磨高 全国へ初の挑戦!!

決勝延長で名門関学を下す

県中央大会では夏の総体出場の伊丹北が早々と姿を消し、優勝候補の呼び声の高かった三原、御影工も次々に倒れ、ダークホースの関学、北須磨が強豪をけ落して決勝に進んだ。二次リーグでは、結局、それぞれのチームが、そのチームなりの弱点を持ったまま大会に臨まなければならなかったということで、いかにその弱点をカバーするか、そして、特徴をどうして勝つことにつなぐかということに集中しきったチームが、決勝トーナメントに駒を進める結果になった。

決勝トーナメントではお互いに研究された同士、相手の弱点を徹底的に研究してつづし、自分の特徴を武器に戦ったチームが勝利をつかんだといえる。

優勝した北須磨は、最近きわだって力をつけており、この大会も決勝進出は二度目、県下の上位チームとして名乗りをあげている注目株で、兵庫県代表にはふさわしいチームである。正月の全国大会の第1戦は岐阜工業、力強いサッカーを見せる好チームとの対戦となったが、守備さえがっちり組めば大いに勝算も高い。同ブロックの強敵、埼玉、栃木、そして、高槻南などいづれをとっても苦しいが、一戦一戦を力一杯、積極的に戦って来てもらいたい。

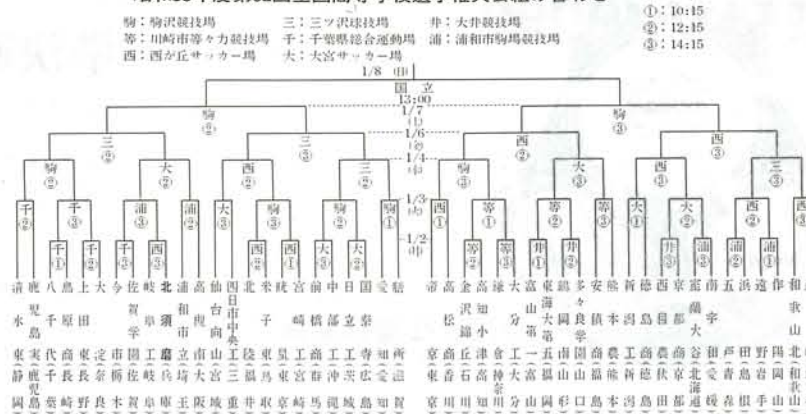
県高校選手権初優勝を振り返って 北須磨高校監督 山根由雄

今大会は優勝候補が次々と一次トーナメントで敗れ波乱の大会となり、我が校の生徒もやる気を出したのが第一の勝因である。特に準決勝の赤塚山戦はこの一年間で我がチーム最高の出来であったと思う。決勝進出への意気込みが感じられ、試合前の生徒の盛り上がりは素晴らしいものであった。しかし、決勝では相手の関学も16年振りの決勝進出とあって、気合が入り、どちらが勝ってもおかしくないゲームであった。結局3年生の勝利への執念が決勝ゴールを決めたと思われる。

全国的に高校生のサッカーは特にメンタルな面が大きく左右し、充実している方が勝ち、少しの気のゆるみで敗退していった好チームが多いのは残念である。

全国大会へ行っても、先ず一回戦の岐阜工業戦でもベストを尽し、悔いのないゲームをさせるために、これからのか月間の練習を部員40名が全員で盛り上げ、いい奮闘で臨みたいと思います。練習の重点としては、ディフェンスの強化を計り、とにかく相手に点を取らせず最悪の場合でもPK戦に持ち込むというくらいの気持ちで臨みたい。兵庫150校の代表として……。

昭和58年度第62回全国高等学校選手権大会組み合わせ



有宏スポーツ
東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品
本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

オウビ
中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ
湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店
中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス
灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ワールドスポーツ
東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

